



2014～15 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

Weekly Report Niigata



2014～15 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹



ロータリーに輝きを

2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 1 月第 3 例会 (2015.1.20) No.3071

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 高橋 秀樹会長挨拶

前回は新春にふさわしい話題として、1905 年のロータリークラブの始まりについて取り上げました。本日は、もう少しそのお話を続けたいと思います。お話ししましたように、当初は、信頼してビジネスができる相手を増やすことがクラブの目的でしたから、クラブが発足してから約1年後の 1906 年 1 月に、正式に採択された定款・細則においても、ロータリークラブの綱領(目的)は、次の二つでした。

1. 本クラブ会員の事実上の利益の増大
2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進

まさに、さきほど斉唱いたしました「我等の生業」が関心事だったのです。しかし、先週私たちはもう一つのクラブソングを歌いました。すなわち「奉仕の理想」であります。その歌詞は次の通りです。

「奉仕の理想に集いし友よ

御国に捧げん我等の生業

望むは世界の久遠の平和

めぐる歯車 いや輝きて

永久に栄えよ

我等のロータリー ロータリー」

では、この奉仕という事柄は、いつからロータリークラブに入ってきたのでしょうか。

実はこのこともクラブが発足してから間もない頃の出来事に始まりがあります。クラブが発足してまもなく、私利私欲的な動機を非難する新聞記事が現れるようになり、会員の中にもビジネスの利益以外のものを求める者も現れていたようです。そのような折、フレデリック・ツイードという会員が、ドナルド・カーターという特許弁護士に入会を勧めました。するとカーターは、クラブの目的は何かと訪ねました。ツイードは、ビジネス推進と親睦の推進の二つだと答えました。クラブの定款・細則を見たカーターは、「こういうクラブは会員以外の人の役に立つようなことができれば、将来性があると思いますよ。クラブは、何か公

共の奉仕をするべきだと思います」と述べたそうです。そして、入会したカーターが作成した草案により、クラブの第三の綱領(目的)が 1907 年に定められたのです。

3. シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める。

その後もロータリーの綱領(目的)は何度も改訂され、先週の会長でもお示した次のようなものになっております。

ロータリーの目的(綱領)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

文言はずいぶんと変わりましたが、カーターが唱えた精神は途切れることなく受け継がれており、彼はロータリークラブにおける「社会奉仕の父」と言われております。

さて、ではその時のロータリークラブはどのような社会奉仕を行ったのでしょうか。これについては当時の状況を知る必要があります。スライドの写真に見られるように、当時のシカゴは大いに繁栄した産業都市でした。しかしその光の面と同時に、影の面も甚だしかったのです。貧富の格差が増大し、産業廃棄物が川や湖に垂れ流されて水面を覆い尽くし、硫化水素ガスの悪臭が町中に立ちこめて、公衆衛生環境は劣悪な状態にありました。このような中、ロータリークラブは、最初の社会奉仕プロジェクトとして、公衆トイレを設置する計画を立てたのです。

ところが、この計画は立案されてから建設が始まるまで2年もかかりました。当時、街中で用を足したくなかった人は、男性であればバーでトイレを借りて、そこで一杯飲むのが習慣でした。

女性であれば、デパートなどでトイレを借り、ハンカチのような小物を買うことになっていました。つまり、公衆トイレの設置は、バーや小売店の利益を損なうことになるのです。ロータリークラブが発足したそもそもの目的であるビジネスの推進とは、相反するようにも見える計画でした。

しかし、ロータリークラブはこの難局を乗り切りました。時間はかかりましたが公衆トイレが設置され、以後、様々な社会奉仕活動が展開され、ロータリークラブは会員のビジネス推進だけに留まらない社会奉仕団体として現在に至っています。私もその恩恵に与った一人であり、ロータリー財団の奨学金を頂いて海外で勉強させて頂きましたし、私の職場であります新潟大学の学生・教職員も毎年多大な恩恵を受けております。深く感謝する次第です。

さて、シカゴロータリークラブによって公衆トイレが設置されてから100年余りが経ちました。今やどこにでも公衆トイレがあり、我々は清潔な環境を享受しているように感じられます。しかし、世界全体ではどうでしょうか。トイレを利用できない人々が世界にどれくらいいるか、みなさんをご存知でしょうか。2011年のユニセフによる統計では、約25億人、世界人口の約36%に上ります。

これが集中しているのが、いわゆる開発途上国であり、トイレを利用できない人の割合が高い国の上位5カ国がアフリカにあります。これは我々にとって遠い国のできごとでしょうか。トイレが利用できないことにより、汚水が生活用水と混じり合うこととなります。劣悪な衛生環境は、疫病の蔓延を助長することになります。そして、疫病の中には克服が難しい、あるいは克服に時間がかかるものも少なくありません。この疫病が、グローバル化の中での人と物の移動により、あっという間に他の地域に広がっていくこととなります。エボラなどは、よく知られた事例です。私の同僚で、アフリカによく出張する教員がいるのですが、「エボラはずいぶん前からあったけれど、一部の地域だけのことで、こんなに広がって大騒ぎすることはなかった」とつぶやいていました。開発途上国におけるトイレの普及と清潔な生活用水の提供は、我々の生活に無関係ではありません。

国際ロータリーの6つ重点分野の一つに「水と衛生」があります。12月16日の会長挨拶でも水問題を取り上げましたが、その時のポイントは、急激に増大する世界人口を支えうるだけの食糧生産に必要な水が足りなくなる、というものでした。今日は、開発途上国の水問題が我々自身の健康と公衆衛生につながりを持つことをお考え頂きたいと思います。このことについて、昨年度、新潟ロータリークラブは、一つの間接的な貢献を行いました。麩沢美裕さんを奨学生としてアメリカ留学に派遣したことです。彼女の研究テーマは、水の浄化技術でした。今後我々に何ができるか、会員各自がそれぞれ継続的にお考え頂き、よいアイデアがございましたらご提供頂ければと思います。本日の会長挨拶は以上です。

(3) 遠藤克也君退会ご挨拶

(4) 後藤司郎君へ米山功労者第7回マルチプル感謝状贈呈

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(樋熊 紀雄委員長)

樋熊 紀雄君

米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)

徳永 昭輝君 岡村 健吉君

宇尾野 隆君

(6) ニコニコボックス紹介

・遠藤克也君 社内の2月1日付定期人事異動で、東京へ転勤することになりました。歴史と伝統ある新潟ロータリークラブの一員として、諸先輩から様々なご厚情を頂戴するとともに、たくさんのご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。また新潟の空気とお酒が恋しくなりましたら遊びにきたいと思いますので、今後とも宜しく願い申し上げます。皆様方のご健康、ご多幸を祈念いたします。

・先週の金曜日に、渡辺剛士さんの事業所でありますニューメディア新潟センターの新社屋完成祝賀会にお邪魔させて頂きました。すばらしい社屋でした。当クラブのメンバーのお仕事が発展していくのは、まことに喜ばしい限りであります。ご挨拶のときには、新潟ロータリークラブについて言及して下さい、ありがとうございました。また、株式会社ニューメディアの代表取締役社長であられる酒井彰様と名刺交換させて頂きましたが、米沢上杉ロータリークラブの会員であられ、第2800地区のガバナーエレクトだとのことでした。新潟、山形両県でのロータリアンのお仕事のご発展を喜び、ニコニコいたします。

・渡辺剛士君 お忙しいなか、16日に行われました新社屋完成祝賀会には高橋会長様はじめ多数の方々にご列席いただき又祝電、お花も頂戴し誠にありがとうございました。今後とも宜しく願い致します。

・樋熊 紀雄君 新潟大学学長高橋姿先生、多忙の中卓話ありがとうございます。久しぶりにお会いできニコニコします。

・金親 顯男君 お忙しい中、おいで頂きました高橋姿学長を歓迎してニコニコ致します。

・長谷川 秀彦君 ①結婚記念日のお花、素敵なチューリップ有難うございました。20年前の結婚記念日の1/17は阪神大震災が起り、当時神戸市垂水区に居住しており、被災し1ヶ月間の避難暮らしを経験しました。②先週土曜日、新潟ゴルフ倶楽部でプレーしました。耐寒が試練でしたが無事プレーできました。

・塚田正幸君 今日の例会卓話の講師は新潟大学の高橋姿 学長ですが、あー残念！今日の例会は所要ため欠席です。高橋学長が医学部長の頃時々お会いしました。高橋学長の卓話は残念ながら聴けませんが、お忙しいところ新潟RCにお越し頂いた事に感謝してニコニコします。

(7) 卓話 「新潟大学の現在と未来」
新潟大学学長 高橋 姿 氏



コ ラ ム

株式会社ビップ

代表取締役副社長 坂井賢一

葬儀式の新しい形
【エンバーミング】について

エンバーミングとは、ご遺体にお薬を使うことで腐敗による変化を防ぎ、ご遺族を感染症から守ることができます。生前愛用のスーツや着物をお着せすることも可能です。お顔のアザや色味をメイクでカバーし、事故などによる傷の修復・闘病により痩せ細ってしまった方をお元気だった頃に近い状態へと修復する技術もあります。また、50日間保管できるため無理な時間に追われることなく、故人様らしい姿のままお別れすることができる新しい葬儀式の提案です。

(8) 本日の出席率 66.67 %
(2週間前メイク後 80.00 %)

1月27日の例会予定

新年家族会 17:00受付 17:45開会
於 行形亭

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>